



# 5月は自転車安全利用月間

令和元年中の県下における自転車の交通事故発生状況は、人身事故 671 件、死者数 13 人（前年比+4 人）、負傷者 663 人（前年比-12 人）でした。

この自転車事故 671 件中、自転車に違反の認められなかったのは 82 件（10.6%）で 9 割近くに何らかの違反行為が認められ、交通ルール遵守の必要性が窺われました。

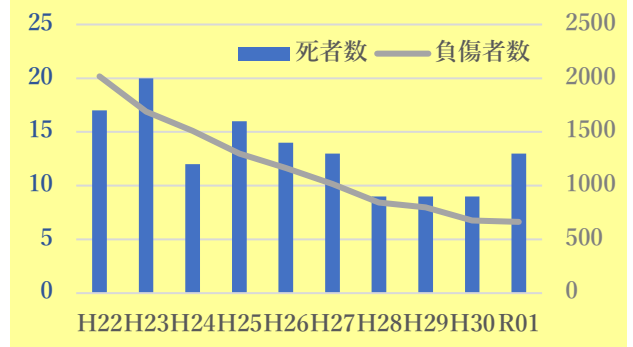
また、年齢別被害状況を見ると全交通事故に占める自転車事故負傷者数の比率は全体では 12.7% ですが、小学生や中学生、高校生、高齢者では、自転車事故負傷者の比率が高く、中でも高校生は 77.7%、中学生は 48.5% と目立ちました。

家庭や学校、地域の皆さんで「自転車安全利用五則」の周知徹底を図り、自転車の安全な利用に努めましょう。

## 令和元年中の交通事故発生状況

区分	人身事故	死者数	負傷者数
全事故	4,097 件	84 人	5,221 人
自転車事故	671 件	13 人	663 人

## 自転車乗用中被害の推移



## 令和元年中の年齢別被害状況

県警統計資料より

区分	年齢別対象								合計
	幼児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	高齢者	その他		
全事故	死者数	0	1	0	0	1	53	29	84
	負傷者数	106	85	91	99	179	856	3805	5221
自転車事故	死者数	0	0	0	0	0	10	3	13
	比率 (%)	—	0	—	—	0	18.9	10.3	15.5
	負傷者数	2	15	28	48	139	138	295	663
	比率 (%)	1.9	17.6	31.1	48.5	77.7	16.1	7.8	12.7

※比率 (%) はそれぞれの年齢別対象の全事故に占める比率です。

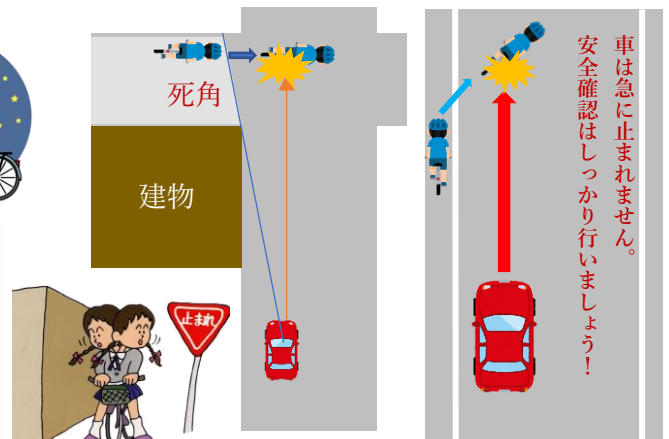


## 自転車安全利用五則

- 1 自転車は、**車道**が原則、歩道は例外
- 2 車道は**左側**を通行
- 3 歩道は**歩行者優先**で、車道寄りを徐行
- 4 **安全ルール**を守る

飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間は**ライト点灯**  
交差点での**信号遵守**と一時停止・**安全確認**

- 5 子供は**ヘルメット**を着用



## 自動車の速度と停止距離

速度	空走距離	停止距離
40 km	1.1 m	2.2 m
50 km	1.4 m	3.2 m
60 km	1.7 m	4.4 m

